

社会医療法人 共愛会広報誌

# Tsunagaru

[つながる]



特集

認定看護師

Take free

ご自由にお持ち帰りください

vol. 89

Autumn



広報誌アンケート  
実施中!

## インフルエンザから身を守ろう!

インフルエンザにかかる人が増えています。新型コロナ感染症と同様に「こまめな手洗い・消毒」や「マスクの着用」などが効果的です。共愛会の各病院でもワクチン接種を実施予定ですので、気軽にお問い合わせください。



社会医療法人 共愛会広報誌

Tsunagaru

第89号 令和5年10月発行



表紙のイラスト

平尾台

(小倉南区)

社会医療法人 共愛会 <https://www.kyoikai.com>



広報誌アンケート実施中!

あなたの声を聞かせてください

救急告示病院 地域医療支援病院 へき地医療拠点病院 災害拠点病院

地域がん診療連携拠点病院 管理型臨床研修病院 特定行為研修指定研修機関

日本がん治療認定医機構認定研修施設 開放型病院届出施設 日本医療機能評価機構認定病院

戸畠共立病院 tel.093-871-5421

\*救急患者は休日・夜間でも受付致します。

女性検診レディック

戸畠共立病院 健診センター tel.093-871-6025

日本医療機能評価機構認定病院(主機能リハビリテーション病院／副機能:緩和ケア病院)

日本臨床栄養代謝学会(NST)認定教育施設

日本リハビリテーション医学会研修施設

日本緩和医療学会認定研修施設

在宅療養支援病院

戸畠リハビリテーション病院 tel.093-861-1500

在宅療養支援診療所

明治町クリニック

住宅型有料老人ホーム

サンセリテ明治町

tel.093-871-3655

tel.093-871-3711

明治町デイサービスセンター tel.093-861-1765

介護老人保健施設

あやめの里 tel.093-871-5902

メディカルフィットネスR·EX戸畠 tel.093-861-1746

ケアハウスあやめ

tel.093-861-1663

福祉用具レンタル・販売・住宅改修

あやめレンタルサービス tel.093-871-3712

共愛会ケアプランサービス tel.093-861-1511

あやめ在宅ケアセンター

・あやめ訪問看護ステーション

tel.093-871-5917

・あやめケアプランサービスステーション

tel.093-873-8317

・あやめヘルバーステーション

tel.093-873-8327

・あやめ巡回ステーション

tel.093-871-4571

共愛会法人本部

tel.093-330-0032

共愛会健康保険組合

tel.093-871-6151

SNSもご覧ください >>>



facebook



Instagram



YouTube

発行元／社会医療法人 共愛会 〒804-0092 北九州市戸畠区小芝2-4-31 TEL.093-330-0032 FAX.093-330-0042

看護職員の  
質の向上へ

- ・つながる
- ・
- ・

## 認定看護師

戸畠共立病院の  
早川 洋子に  
聞きました。



認定看護管理者  
看護部長  
はやかわ ようこ  
早川 洋子

### 合計11分野、16名の認定看護師が在籍

医療を取り巻く環境は、少子高齢化・医療技術の進歩・医療提供の場の多様化により大きく変化しています。その中でも医療依存度が高く、複数の疾病を有する患者さんも増えています。その対応には看護師として、より「質の高い看護」を提供することが求められています。

当院には、スペシャリストとして認定看護師が16名在籍しています。認定看護師とは、特定の看護分野において水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。認定看護師の資格取得には、看護師として5年以上の実務経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定審査に合格することでの取得できます。

審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格の更新を行っています。

認定看護師には21分野の認定看護分野があり、当院では、2009年にがん化学療法看護認定看護師の取得から始まり、現在では合計11分野(16名)の認定看護師が在籍しています。

- ①患者・家族の必要とする医療を提供するために医師と共に協働しながら看護水準の向上に努める。

- 摂食・嚥下障害看護認定看護師(1名)
- クリティカルケア認定看護師(1名)
- 救急看護認定看護師(1名)
- 集中ケア認定看護師(1名)
- 認知症看護認定看護師(2名)
- がん化学療法看護認定看護師(2名)
- がん薬物療法看護認定看護師(1名)
- 緩和ケア認定看護師(3名)
- 感染管理認定看護師(1名)
- 認定看護管理者(1名)

院内各所に認定看護師を配置し、それぞれの分野での活動をおこなう体制を作っています。また認定看護師同士だけでなく、外来・病棟・看護師との連携にも力を入れています。

当院は、2018年2月に看護師特定行為指定研修機関となり、認定看護師以外に特定行為看護師として医師の指示のもと医療行為をおこなう看護師もいます。今後ますます看護職員の活躍の場が広がり、医師のタスクシフトに寄与するとともに看護職員へ求められる事も増えてきます。これからも看護職員の質の向上に努めます。

救急看護  
認定看護師2016年  
認定取得久子  
仁に  
杷島  
かばしま

## 予期せぬ急変や搬入減少を目指して

医療の高度化・複雑化・在院日数の短縮に伴い、質の高い看護実践が求められています。当院救急センターでは、性別・年齢・傷病の程度も多種多様な患者さんが救急搬送・受診しており、救急患者を積極的に受け入れ初期治療をおこなう部門です。病態への対応が優先される救急センターの看護師には、少ない情報から予測するアセスメント能力や、より高度な看護実践能力が求められます。また、患者さんの安全を保証するためには、根拠に基づいた看護実践をおこなう必要があります。「認定看護師は歩く看護基準・看護手順」と記してある著書がありますが、認定看護師の実践する看護は、その施設の看

護の質を表していると考えます。私が新人の頃、先輩に「患者さんとご家族の為に、あなたに何ができるか考えて」と言われ、「自分に出来ることは何か、新人の私に何が出来るのか」を常に考えていたことを思い出します。患者さんに何をすべきか。制服を着て患者さんの前に立つ以上、「患者さんの為にできる限りのことをしてみたい」と思う気持ちは10数年経過した今でも変わっていません。

私は2015年に日本看護協会救急看護認定看護師の資格を取得し、対象に応じた救命技術や救急看護技術の実践や危機的状況にある患者・家族への支援、救急教育を実施しています。戸畠共立病院は救急告

るような適切な初期対応に結び付けられるよう、地域の救急医療を担つており、月に200台以上の救急車を受け入れています。搬送される患者さんは、クリティカルな状態（突然の事故や重篤な疾病、侵襲の大きな手術など）により生命の危機的状況に陥っている状態であるため、救急隊より、必要最低限の情報を素早く聴取し、救急搬送時間を最短でおこなうことが重要です。

戸畠共立病院は24時間365日地域の救急医療を担つており、月に200台以上の救急車を受け入れています。患者さんの状態は常に一定ではなく、身体的・心理的にとても不安定な状態です。そのため、専門的な知識と技術を駆使し患者さんの状態が安定へ向かうように、実践と評価を繰り返しおこなうことがクリティカルケア認定看護師の重要な役割となり

ます。そして、それは患者さんが無事に治療・療養を終え帰宅または退院するその時まで継続されます。また、その場面は救急センターのみではなく、一般外来や入院病棟でも同様です。

クリティカルケア  
認定看護師2021年  
認定取得由美  
山下  
やました  
ゆみ

## 救急搬入後の診察や処置、検査をスムーズに

クリティカルケア認定看護師とは、2020年度から新設された「救急看護分野」と「集中ケア分野」を統合し、「呼吸器（人工呼吸療法）関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「循環動態に係る薬剤投与関連」の3区分の特定行為を組み込んだ新たな認定看護師分野です。主な業務と役割について紹介します。

### 院内トリアージ

受診患者さんの緊急救度を判定して、診察までの優先順位を決定することをトリアージと言います。患者さんの第一印象や病態、簡単な病歴

からなるアルゴリズムに基づいて、類型（カテゴリー）化することに加え、人物、場所、いわゆる医療資源（リソース）を考慮し緊急救度や優先度を判定しています。緊急救度は、「重症化（死亡あるいは機能障害）に至る速度あるいは重症化を防ぐための持続時間あるいは時間的余裕」と定義されています。救急センターでは、日本版緊急救度判定支援システム（JTAS）を受講したトリアージナースが複数名在籍し、緊急救度を判定し、優先順位を決定する重要な役割を果たしています。

受診患者さんの緊急救度を判定して、診察までの優先順位を決定する

ことをトリアージと言います。患者



集中ケア認定看護師  
(特定行為研修修了生)  
おおにしみどり 翠  
2016年認定取得

## 心身ともに元の生活に戻れるようサポート

超高齢化社会の中で、当院も患者さんのうち80歳代以上が約25%を占めています。患者さんが複数の疾患を抱えている場合も多く複雑で、生活背景もひとりで生活する方や、施設入所の方、ご家族が遠方にいるなど多種多様になっています。集中治療室に入室する患者さんの半数近くは、集中治療後症候群という身体的、認知的、精神的な後遺症が残ると言われています。身近な例えでは、インフルエンザなどの感染症罹患後に体力が落ちた、何かぼーっとやすいといった症状です。それらが集中治療室滞在中に悪化、継続しやすい

ということが近年明らかになつてきました。

そこで認定看護師として、患者さんが心身ともに安定し、元の生活に戻れるようサポートしています。具体的には、患者の表情、呼吸や血圧、採血などから患者の変化を予測し、それ以上重篤化しないよう酸素や体位、薬剤などの調整を医師へ提案するための検討や実践、多職種(他の認定看護師、リハビリスタッフ、臨床工学技士や薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、ソーシャルワーカーなど)との連携をおこなっています。

また特定行為研修修了生の強み

速対応チーム)として、集中治療室内だけでなく、一般病棟の看護師やリハビリスタッフなどから、呼吸や循環、意識など全身状態の悪化変化が気になる患者さんの連絡を受けて訪問し、治療が早期に、最適に開始できることで、患者さんの予防策を検討し、医師や他の職種と連携をおこなっています。直接病棟へ訪問することで異常の早期発見、医療、看護の質の向上に向けて取り組んでいます。



きはらひろみ  
木原 洋美

感染管理  
認定看護師

## 多くの職員と共に考え現場力を高める

私は「患者さん、そして一緒に働く同僚を感染から守りたい」と感染管理認定看護師を志し、資格を取得して7年になります。外来で勤務しながら、院内感染対策に携わってきましたが、まさか世界を揺るがす感染症に翻弄される日々が来て、何年も続くことになるとは思いもしませんでした。感染症と並走した年月は、駆け抜けた:というより全力疾走だったと感じています。様々な経験を通じて、改めて私の役割ってなんだろうと深く考える機会にもなりました。

私は「患者さん、そして一緒に働く同僚を感染から守りたい」と感染管理認定看護師を志し、資格を取得して7年になります。外来で勤務しながら、院内感染対策に携わってきたましたが、まさか世界を揺るがす感染症に翻弄される日々が来て、何年も続くことになるとは思いもしませんでした。感染症と並走した年月は、駆け抜けた:というより全力疾走だったと感じています。様々な経験を通じて、改めて私の役割ってなんだろうと立ち止まってみました。本来、医療や看護の場面では、

それは医療従事者として、大切なことはなんだろうと立ち止まってみました。その中で感染対策は日常的に

した。そのため、治療やケアをおこないます。その中の患者さんの目標を達成す

を活かした動脈血液採血の実施、人

工呼吸器設定の調整、昇圧剤の調整など迅速な実施をおこなうことで、患者さんがより早く、楽になれるよ

うな医療の提供を医師のタスクシフトとして選べるような共同意思決定支援として、スタッフの育成もおこなっています。

さらに患者さんを支えるご家族の不安や疑問が少しでも解消できるように関わり、患者さん、ご家族にとって Best (最善) または Better (最良) な治療を納得して選べるような共同意思決定支援として、スタッフの育成もおこなっています。

これらの実践を通してモデルナースとして、スタッフの育成もおこなっています。

また RRT (Rapid Response Team)として、集中治療室

内だけでなく、一般病棟の看護師やリハビリスタッフなどから、呼吸や循環、意識など全身状態の悪化変化が気

になる患者さんの連絡を受けて訪問し、治療が早期に、最適に開始できることで、患者さんの予防策を検討し、医師や他の職種と連携をおこなっています。

直接病棟へ訪問することで異常の早期発見、医療、看護の質の向上に向けて取り組んでいます。

私は認定看護師として診療、治療、療養の現場にいます。世の中を変えた感染症と向き合った日々を振り返り、本来あるべき患者さんを中心の契機に、感染対策は何か特別なものとなり、患者さんの目標よりも優先しまついたのではないかと考えさせられています。

私は認定看護師として診療、治療、療養の現場にいます。世の中を変えた感染症と向き合った日々を振り返り、本来あるべき患者さんを中心の契機に、感染対策は何か特別なものとなり、患者さんの目標よりも優先しまついたのではないかと考えさせられています。

皆さんがご存知のナイチンゲールは、感染管理の母でもあります。生誕2000年を迎えた年に私たちが新型コロナウイルスの世界的流行という困難に遭遇したことは、改めて深く学び努力するタイミングだと自身に投げかけられている:そんな気がする今日この頃です。

いつも煩雑な現場ですが、患者さんに寄り添い、多くの職員と共に考え、共に実践し現場力を高めていくことが、認定看護師である私の役割であると思っています。

皆さんがご存知のナイチンゲールは、感染管理の母でもあります。生誕2000年を迎えた年に私たちが新型コロナウイルスの世界的流行という困難に遭遇したことは、改めて深く学び努力するタイミングだと自身に投げかけられている:そんな気がする今日この頃です。

# 食嚥下障害看護

## 定看護師

## 日常の中での「食」の質を向上させる

高齢化が進む日本の中で、戸畠共立病院では入院患者の半数近くが栄養障害のリスクを抱えており、完全な食事が難しい状態の方が増加しています。

摂食嚥下についての専門的な知識と技術を身につけるため、摂食嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。

ポートチーム)として、患者さんの養



2  
認

なかむら まさたか  
中村 将隆

など全身状態の管理や口腔ケア、食事介助による安全かつ快適な食事の環境整備を目指していきます。

さらに歯科医師と連携した嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査も実施しています。嚥下障害をもつ患者さんの状態をより詳細に把握し、その原因に応じた適切なリハビリテーションやケアを実施しています。

## 栄養サポートチーム(NST)



安心して入院生活を送るための環境を

認知症患者さんにとって急な入院は、疾患に対するつらさだけではなく、よく知らない場所・顔見知りの人々がいる環境におけるため、その不安は計り知れません。そして不安が増強すると、見当識障害の進行、昼夜逆転、コミュニケーションの困難などが現れ、治療や入院生活に支障を

入院期間の延長やさらに認知機能や日常生活動作の低下につながるリハビリ。

看護認定看護師が在籍しており、認知症ケアチームと共に活動をおこなっています。メンバーは看護師だけではなく、医師・薬剤師・管理栄養士・



2018年  
認定取得

2018年  
認定取得

認知症  
認定看

認知症  
認定看

2年  
取得

じょうまともあき  
城間智明

じょうまともあき  
城間智明



せん妄の予防、改善をおこなうこと  
です。

ワーカーが在籍しています。

## 今回の旬の食材

### [ 銀杏 ]



銀杏は秋～初冬にかけて旬を迎える食材で、古くから民間療法でも使用され滋養強壮や咳止め等の効果があると言われています。栄養素としては、カリウムやマグネシウム、鉄分など骨を作るのに必要なミネラルや、ビタミンCを多く含みます。一方で、メチルピリドキシンという有毒成分が含まれているため、食べ過ぎに気をつけましょう。



栄養士  
オススメ!

### 旬の簡単レシピ

エネルギー  
(1名分)  
318  
キロカロリー

### 銀杏ときのこの炊き込みご飯

#### 材料(2名分)

・米	0.5合
・ひらたけしめじ	15g
・舞茸	15g
・えのき	15g
・銀杏	12g(3~4粒)
・三つ葉	適量
・出汁	80cc
・薄口しょうゆ	7.5g
・料理酒	7.5g
・みりん	7.5g

#### 作り方

- 1 米を洗い、水気を切っておく。
- 2 キノコを好みの大きさにカットする。
- 3 炊飯器に米と具材、出汁、調味料を入れて炊く。
- 4 炊きあがったら銀杏を加え、約10分蒸らす。
- 5 盛り付け時に、三つ葉を添えて完成。

#### 銀杏の調理ポイント

- 殻付きの銀杏は紙袋(茶封筒等)に入れ、電子レンジで500W30秒程度加熱する。※紙袋は、しっかり2、3回折って中身が飛び出ない様に注意※加熱し過ぎると実が固くなるのでほどほどに(目安ははじける音1~2回程度)
- 水煮の場合は、茹でた後水気を切り、塩ひとつまみ加え軽く炒る。



戸畠リハビリテーション病院  
栄養科  
管理栄養士  
さいとう ゆか  
斎藤 由佳

エムサービス  
戸畠リハビリテーション病院  
事業所  
やまだ かほ  
山田 果歩



#### Work and Private

Q. あなたの趣味は何ですか?

A. 船釣り

Q. それはいつから始めましたか?

A. 8年ほど前

Q. 趣味にまつわるエピソードは?

A. 普段は玄界灘でヒラマサ、ブリ、アラ、カツオなどを、遠くは青森に鮪を狙いに行ってます。ただし釣るよりも捌く方が得意です。

### 私の ONとOFF

スタッフの仕事とプライベートを  
みなさまにご紹介します



戸畠共立病院  
外科医長  
むろ や だいすけ  
室屋 大輔

### 常に最適な診療を

外科医として診療する中で、患者さんの回復力に驚くことがしばしばあります。少しでも患者さんの予後に寄与できるようにお手伝いをさせていただくという思いで治療をおこなっています。また、珍しい病態の患者さんに出会うことも少なくありません。病態や文献を調べることで、私自身の勉強にもなり、常に最適な診療をおこなえるよう心がけています。退院した術後の患者さんが、笑顔で外来受診される時が最高の瞬間です。